

08 東京オペラシティ・スペシャル・コンサート

A Legendary Composer's Tribute to Love and Romance

大作曲家 愛とロマンのスペシャルコンサート

WYSTAWA CHOPIN & LISZT



Program

斎藤清子 オルガン・ピアノ
バグナタ Pagatella e-mail BWV332
アラン: Liszt

稲川ゆかり ピアノ・シンセサイザー
稲川ゆかり: アーケストラリタスの模倣
高級模倣
Hofman Showers

金本順子 ピアノ
F. ショパン: アンダンテ・スピアダートと華麗なる大球ロネーズ op. 28

斎藤清子 ピアノ
ラヴェル: 「旅」より「旅の途」
リスト: バガニーニによる大衆舞曲 第6番 イ短調

坂本悦子 ヴァイオリン&プロデュース 武蔵野交響 全楽器編成
川口 萌 独白・ピアノ 尾 寛子 ピアノ
川口萌独白: ベートーヴェンの交響曲によるヴァイオリンソナとピアノの
ための協奏曲(2007)

井山 京 ピアノ
ドビュッシー: ピアノのために
プレリュード
中ラパンド
ワルツ
ブランク: 即興曲 第10番 (ユダヤ人・ピアノをたたいて)

宗田舞子 ソプラノ
ドニゼッティ: 歌劇「ランメルモールのルチア」より
「真たりは沈黙に閉ざされ」

北野晃司 テノール 安芸演劇団 ピアノ
ドニゼッティ: 歌劇「ランメルモールのルチア」より「清く美しい天使よ」

北野晃司 宗田舞子 二重唱
ドニゼッティ: 歌劇「ランメルモールのルチア」より
「裏切られた父が眠る墓の上で」

岡野登喜江 ソプラノ 安芸演劇団 ピアノ
V. ベッリーニ: 歌劇「清教徒」から
エルヴィーラの詠唱「優しい声が私を呼んでいた」
G. ヴェルディ: 歌劇「イル・トロヴァトーレ」から
レオノーラの詠唱「おだやかな夜」
: 歌劇「ドン・カルロ」から
エリザベッタの詠唱「世の空しさを知る神よ」

G. ブッチーニ: 歌劇「トスカ」から
トスカの詠唱「歌に生き、愛に生き」

田中美好 ソプラノ 平島誠也 ピアノ
R. シュトラウス: 1) あした! 2) 万葉節 3) 夜
4) 子守歌 5) セレナード

斎藤清子(オルガン・ピアノ)
稲川ゆかり(ピアノ・シンセサイザー)
金本順子(ピアノ)
坂本悦子(ヴァイオリン)
井山 京(ピアノ)
宗田舞子(ソプラノ)
北野晃司(テノール)
岡野登喜江(ソプラノ)
田中美好(ソプラノ)

2008年10月9日(木)
18:00 開演 17:30 開場
東京オペラシティ
コンサートホール
〈タケミツ・メモリアル〉

Memorial Yoko TSUMURA 企画制作 植松基次
協力: 銀座イタリー亭

KOKUSAI CHOWA CLUB ASIA ART ASSOCIATION ¥4,000(全席自由)



斎藤 冴子

(オルガン・ピアノ)

慶應義塾大学法学部法律学科卒業後、会社勤務を経る。「ラ・フォル・ジュルネ音楽祭2006」にてモーツァルトを演奏(於丸ビル)。ポーランドでの国際マスターコースにてソロを学び、ドイツ・エンデニヒ音楽祭に出演。第3回、第4回Upbeat春期

国際音楽セミナーでは室内楽を学ぶ。これまでにソリストとしてジャパンチェムバーフィルハーモニー、ブラチスラヴァ・カンマムジークシュペラー及びクラクフ室内管弦楽団と、日本及びスロヴァキアにてコンチェルトを共演している。日埃文化協会主催による2007国際アマチュアピアノコンクールA部門第2位。2008年第9回シヨパン国際コンクール in ASIA アマチュアソロ部門において金賞を受ける。AAAのコンサートを含め、これまでに紀尾井ホール、東京文化会館、浜離宮朝日ホール、東京工業大学などで演奏している。

またパイプオルガンも学び、演奏奉仕を行う。ダラム、サザク大聖堂およびロンドン・パーピカン教会(以上イギリス)のオルガンを学ぶ機会を持ったほか、パリの教会のオルガンも見学している。これまでに教会のほか府中の森芸術劇場や武蔵野市民文化会館でも演奏。

金本 順子

(ピアノ)

3歳よりピアノを始め、昭和音楽大学短期大学部ピアノ科卒業。同専攻科修了。スイスにて夏期講習会に参加、ジェルメール・ムニエ女史、ジャック・ルヴィエの各氏に師事、終了コンサート出演。



2002年に渡仏し、エコール・ノルマル・ミュージック・ドゥ・パリにて、ジェルメール・ムニエ女史のもとで研鑽を積む。パリ・コンセルヴァトワールにて、室内楽を学ぶ。クロアチアにてアップビート夏期セミナーに参加。パリ、スイス、クロアチア、ポーランドにてコンサート出演。これまでに山陰泉、佐々木子恵、三谷温、ジャック・ルヴィエ、ジェルメール・ムニエの各氏に師事。

井山 京

(ピアノ)

国立音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業。竹内キヨ、山下浜子、田辺緑、(故)クロイツァー豊子、牧子・武田-Helms各氏に師事。東京都出身。岡山県在任中に倉敷音楽協会理事長を歴任。



1981年倉敷管弦楽団とグリーグのピアノ協奏曲op.16を共演。1986年倉敷と東京にてジョイントリサイタル。1988年倉敷と東京にてソロリサイタル。1989年倉敷にてピアノデュオ賛助出演。1991年倉敷管弦楽団とラフマニノフのピアノ協奏曲第2番op.18を共演。1993年倉敷クリスタルトリオを結成し、クライストチャーチ市親善演奏会を開催。モーリス・ティル、テッド・ローズ、マーティン・ライズリー氏と共演。1994年ニューゼaland・クライストチャーチ市に招かれ、倉敷クリスタルトリオ・リサイタル及びランチタイムコンサートを開催。又、リビング新聞社主催「マタニティコンサート」を毎年開催し、好評を博す。倉敷と東京(OAGホール)にてソロリサイタル。1995年ニューイヤーコンサート(都市センター)出演。ヨーロッパコンサートツアーに参加し、ポーランド(ワルシャワシヨパン協会ホール、シヨパンの生家)、ドイツ(ベルリン)にてコンサートを行う。1996年ニューイヤーコンサート(虎ノ門)出演。国立音楽大学創立70周年記念コンサートにてピアノデュオ出演。1997年倉敷にてソロリサイタル。1998年ニューイヤーコンサート(紀尾井ホール)出演。1999年世界名曲ふるさとコンサート(オペラシティ)出演。2001年21世紀楽聖名曲歌曲と楽器の夕べ(オペラシティ)出演。2002年ドリーム・ランド・コンサート(オペラシティ)出演。2003年渡辺、牧子・武田-Helms氏のもとで、研鑽を積む。11月エプタダにてソロリサイタル。2005年3月ニューヨークにてDr.Pace氏による研修会に参加。巨匠楽人名曲の饗宴(オペラシティ)出演。2006年愛とロマン モーツァルト讃美の夕べ(オペラシティ)出演。その他、フルート・声楽の伴奏、トークコンサート等、意欲的に活動を展開している。東京家政大学非常勤講師。日本シヨパン協会関西支部研究会会員。



稲川 ゆかり

(ピアノ・シンセサイザー)

1978年国立音楽大学附属音楽高等学校を卒業。1982年国立音楽大学ピアノ科を卒業。卒業後、虎ノ門ホール、紀尾井ホール、オペラシティコンサートホール、第一生命ホールにて多数のコンサートに出演。1997年から国際文化交流活動でポーランド、ハンガリー、オーストリアにてコンサートツアーに参加。また1998年ポーランド、オーストリアにてコンサートツアーに参加。2000年と2001年にはアメリカにて文化交流コンサートを開催。いずれのコンサートにおいても自作自演の演奏は非常に好評である。また1993年にはすでに出版もしている。現在は自然科学に強い興味を持ち、その感動を作品に表わしている。爬虫両生類情報交換会会員。2006年、東京文化会館小ホールにて、今までの総集編としてのソロリサイタルを開催、好評を得る。

北野 晃司

(テノール)

優美な声と繊細な表現力が評価されているテノール・リリコ・レジェーロ。



イタリア歌曲およびベルカントオペラのテノールの諸役を三池三郎氏に師事、フランスオペラと歌曲を村田健司氏に師事。また、世界的なテノール歌手ウィリアム・マッテウツィのマスタークラスを3度受講し、発声の指導を受ける。2001年夏にはイタリアで、マッテウツィを育てたパリア・ヴェントゥーリ氏(元ミラノスカラ座の発声指導者)のレッスンを集中的に受け、現地でのオーディションに合格、モンテペッルーノ音楽院で行われたオーケストラコンサートに出演した。イタリアオペラ全曲公演では、モーツァルト「フィガロの結婚」、ヴェルディ「椿姫」、ゾルゲル「アンドレア・シェニエ」などの脇役で舞台経験を積んだ後、99年11月のドニゼッティ「ドン・パスカル」のエルネスト役で主役デビュー、雑誌「音楽現代」他で好評を博した。その後、モーツァルト「コジファンツウテ」「ドン・ジョヴァンニ」、ロッシーニ「セビリアの理髪師」「結婚手形」、ドニゼッティ「ルチア」、レオンカヴァッロ「道化師」等で出演している。

2003年文京シビック大ホールで行われた文京区民オペラ、ドニゼッティ「愛の妙薬」のネモリーノ役では、超満員の中、「はまり役」の評価を得て大成功を収めた。フランス語テキストとの適性も示し、ハイライトながらマクスネ「マノン」、ビゼー「真珠探り」「カルメン」、ドビュッシー「ペレアスとメリザンド」、プーランク「カルメル派修道女の対話」等のフランスオペラに出演の他、フォーレ、ラヴェル、デュバルからの叙情的な歌曲作品の演奏にも定評がある。ヴェルディ「レクイエム」、モーツァルト「ミサ・プレヴィス」等の宗教曲ソリストとしての出演、老人医療施設でのチャリティコンサートやサロンコンサートへの出演も多く、自ら演奏会のプロデュースも手がけている。劇団四季50周年オーディションにて、ソロ男性ヴォーカリストとして合格。桜橋区演奏家協会会員。

田中美好

(ソプラノ)

(旧姓名 浅井暁子) 新潟市出身。東京芸術大学卒業。同大学院独唱科修了。畑中良輔氏に師事。在学中より芸大定期演奏会でマーラー交響曲第4番、ヴェーバーの第九のソロなどで活躍。二期会オペラ「リゴレット」(故三谷礼二演出)のチェブラノ夫人役でオペラデビュー。以後、数々のオペラ、コンサートに出演。1973年から80年までウィーンに留学。ウィーン国立音楽大学リート・オトリオ科卒業。ヴェルバ、シュミーデク、ムーア各氏に師事。1982年~83年にはニューヨークでアメリカ現代芸術歌曲を研究。帰国後は、発声を故正田生次郎氏のもとで学びながら、オペラ、コンサート、リサイタルと並行して92年~96年まで尚美学園短期大学で助教授を務めた。現在は、後進の指導にあたりながら、コンサート、リサイタルに活動している。リサイタルは、13回目。二期会会員。日埃文化協会会員、日本演奏連盟会員、女性と音楽研究フォーラム会員。



坂本 悦子

(ヴァイオリン)

ベルリン国立芸術大学卒業。ヴァイオリンをトーマス・ブランディス、フランツ・サモヒルの各氏に、室内楽を遠山慶子氏に師事。帰国後は、遠藤周作氏のすすめで、ソロ活動を始める。国内でのリサイタルの他、サルツブルクゾリステンとモーツァルトの協奏曲を共演している。一方、能楽、文学の批評などの執筆活動や、ザグレブフィルハーモニー管弦楽団と六本木男声合唱団倶楽部とのジョイントコンサートなどプロデュースも手がける。今回は、ベートーヴェンの大曲の編曲を川口潤氏にお願いし、演奏する。同氏はそのキャピタル(株)内部監査室長でありながら、マーラーの交響曲第五番ヴァグネルの編曲において故レナード・バーンスタインに絶賛され、又アメリカ留学時代、大学タレントショーのピアノで準優勝されるなど、才能豊かな音楽家でもある。同時に、ヨーロッパを中心に大活躍、ブラハ放送交響楽団客演常任指揮者の武蔵野明氏、シュボアヴァイオリンコンクールで特別伴奏賞受賞の星歌子氏の全面的なサポートのもと、夢の協演が初めて実現する。

宗田 舞子

(ソプラノ)

東京音楽大学ピアノ科卒業。同研究科オペラコース2年修了。(株)タミヤ主催、東京ソナーレピアノコンクール金賞受賞。ソレイユ新人オーディション入選。日本サロンコンサート協会オーディション最優秀賞。コンセル・ヴィヴァンオーディションでピアノ、ソプラノ両方で合格。全日本演奏家協会オーディション優秀賞。大曲新人音楽祭入選。



「愛の妙薬」のアディーナ、「フィガロの結婚」のケルビーノ、伯爵夫人、「魔笛」のパミーナ、などに出演。東京シティアフィルとスクール公演で、19公演共演する。(株)タミヤ主催、静岡AOI館にてリサイタルを開催。その他、毎年山王病院でのロビーコンサートや幼稚園、小学校などでコンサート活動している。NHK音楽テレビ「トコトウアンソナル」、NHKラジオ「今日も元気でわくわくラジオ」にゲスト出演。和光堂協賛「ファミリーコンサート」全国28公演に出演。沖縄県うるま市アウトリーチ事業で弦楽四重奏dropと共演。コンボジャよりCD「千の風になって」「Il Bacio」をリリース。長野県岡谷市において「宗田舞子ピアノ絵本館」と題し、オペラリアとナレーション付きのピアノ連弾コンサートを開催し好評を得る。東京文化会館大ホールにて「オクターム・ドリームコンサート」に出演。東京音楽大学ピアノ伴奏法助手。ピアノを三谷温、三浦捷子、声楽を市川倫子、平田典之、田手道子各氏に師事。

岡野 登喜江

(ソプラノ)

武蔵野音楽大学声楽科卒業。声楽を武蔵野音楽大学琴止ミヤ子女史、東京芸術大学岡部多喜子女史、ロドルフォ・リッチ教授に師事、毎春、独唱会「うたのひとつとき」を開催。ウィーン国際夏期音楽セミナーに於て、オペラをミラノ大学のバクターリア教授、ウィーン国立音楽大学のルカフスキー教授、ブライヤー女史、ツァデーク女史、ブラホヴァ女史、サリオ女史に師事。ヴェルバ教授に、ドイツ歌曲を同じくハンスマン女史に発声を師事。シュロスコンサート等で好評を博す。数年来「ソロ・フェスティバル」に出演、東京交響楽団と共演。「日本の音楽展」に出演。アジア・アート・アソシエーション主催の音楽会に10数回出演。同主催の国際親善旅行に参加。ウィーン、パリ、ブダペスト、プラハ、ブライルグ、ワルシャワ、ベルリン等の東西ヨーロッパ諸国の各国で好評を得る。2000年から東京オペラシティのコンサートに毎年出演。1995年以来、東京文化会館・小ホールで、ヴェルディ・プッチーニのオペラの作品を中心に演奏。2001年には「ヴェルディ没後100周年記念コンサート」を主催。2005年、2006年には東京文化会館・大ホールでアジア・アート・アソシエーション企画のコンサートに出演。2006年夏、ウィーン、カイザー・ハウス宮殿でリサイタルを開催。秋、安芸権子さん企画の「モーツァルトさんありがとう」に出演。



様

時ならぬ豪雨に夏が終わったような気が致しますが、如何お過ごしでしょうか。

この度別紙の演奏会で、ベートーヴェンの作品に編曲を加えたものを、弾かせて頂くこととなりました。

今回は、楽器の編成も普段とは違い、ピアノ2台と私のヴァイオリンという初めての試みのため、チェコフィルハーモニー管弦楽団ともCDを出しておられる指揮者の武藤英明氏に合奏指導をお願い致しました。(演奏会当日は、武藤氏がピアノの譜めくりとして、登場する可能性もあります。)

会場も、約二千名を収容する大きなホールで、気持ちを引き締めて、準備を進めております。

皆様には、お忙しい折とは存じますが、お出で頂けましたら、幸いです。

かしこ

坂本悦子

勝手ながら、ご都合の程を九月二十六日までにお知らせくださいませ。

入場券をお送り申し上げます。

FAX 返信票

坂本悦子行き

fax 03(3427)8523

ご出席

名様

ご欠席

ご芳名

ご連絡先

ご住所

切り取らずそのままご送信くださいませ。